

“みみっこ[®]” 技術資料

【多量に使用されてきた化学肥料や農薬で汚染され「地力」が落ちた大地を再生するために、化学物質を使用しないで4億年も前から生息し健全な土作りをしてきている「ミミズ」が持つ土壌菌や自然界の産物を原料として開発された大分県産の土壌改良植物活性材】

構成成分；微生物・酵素・動物性/植物性/海洋ミネラル配合



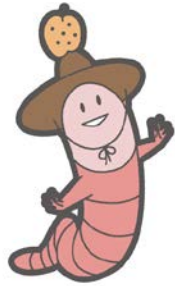
ima アグリサービス

大分県大分市東津留1-5-1 ユナイテッド東津留ビル2F

E-mail ; info@mimicco.com

HP ; <http://mimicco.com>

18.08改定



“みみっこ[®]”とは

本成分は、農薬分解剤として特許を取得しています。

農薬分解剤特許 No2867059

○ “みみっこ” の含有成分

含有用微生物(ミミズの体内およびフン土中微生物・土着菌)

●バクテリア

- ・バチルス属・セルロモナス属・エリシペロスリックス属・フラボバクテリウム・ラクトバチルス属・レオコノストック属・マイクロコッカス属
- ・マイコバクテリウム属・ニトロソモナス属・ペディオコッカス属・シュードモナス属

●放線菌

- ・ゴールドナ属・プロミクロモナスポラ属・ロドコッカス属

●糸状菌

- ・フザリウム属・ゲオトリカム属・トリコデルマ属

●酵母菌

- ・カンディタ属・クリプトコッカス属・トリコスポロン属

(熊本県工業技術センター調べ)

みみっこ成分表

(mg/l)

pH	EC	窒素	ミネラル	リン酸	カリウム
6~7	0.95	80.6		89.77	103.23

鉄	カルシウム	マグネシウム	マンガン	ナトリウム
0.02	91.86	16.86	0.3	34.34

(JAおおいた経済連 土壌診断センター調べ)

アゼツシ・ミミズが持つ含有アミノ酸

単位PPM

略号	名称	ふん土	ミミズ	特徴
Asp	アスパラギン酸	-	56.80	呈味、甘味、色素、香気
Glu	グルタミン酸	-	200.86	呈味、耐寒性、抗菌性
Ser	セリン	-	126.84	呈味、甘味、
Asn	アスパラギン	-	13.42	
Gly	グリシン	-	123.40	呈味、甘味、香気
Gln	グルタミン	-	31.43	
His	ヒスチジン	4.04	49.67	
Thr	トレオニン	135.98	123.82	甘味、色素、
Arg	アルギニン	147.50	76.62	呈味
Ala	アラニン	-	229.77	呈味、甘味、
Pro	プロリン	11.16	93.34	甘味、香気、
Tyr	チロシン	13.08	74.52	甘味
Cys	システイン	17.18	26.64	
Val	バリン	-	111.36	呈味、甘味、色素、香気
Met	メチオニン	-	46.22	香気、抗菌性
Ile	イソロイシン	4.42	88.61	色素
Leu	ロイシン	-	187.18	呈味、色素、香気
Lys	リシン	-	130.12	甘味、香気、
Phe	フェニルアラニン	-	86.28	甘味、香気、

熊・工業技術センター調べ

“みみっこ” で健全な土壌



“みみっこ” は基本水に「海洋深層水」使用し、アースワーム(ミミズ)との融合により開発された活力水です。

“みみっこ” は自然界の産物をバランス良く調合し、現在の農業生産される土壌に最も必要な栄養元素をふんだんに含んでいます。

①海洋深層水の特性 Mineral海洋元素（微量ミネラル類70種類以上）

特性（低温安定性・富栄養性・清浄性・熟成性・浸透性に優れる。）

②Earth Worm(地球の虫)アースワーム

畔津氏が開発した『アゼツシマミミズ』は、アミノ酸19種・微生物100種を含む。

（植物性ミネラル・動物性ミネラル30種以上含有）

“みみっこ” は健全な土壌を作り安全・安心美味しい作物作りのため開発しました。

あなたも元気な苗・土作りを今日からはじめませんか？

ポイント

“みみっこ” の効果

“みみっこ”に含まれる微生物・酵素・動植物性ミネラル・海洋深層水の作用により下記の効果が期待できます。

- 残留農薬を含有微生物が水と二酸化炭素に分解し土壌改良を行います。
- 微生物の効果で土壌の団粒化を促進、作物が強い根を張ります。
- 土壌中の残留毒性物「アルカロイド等」を微生物が分解。連作可能な土壌にします。
- 微生物により堆肥の無機化を促進。堆肥を作物が吸収しやすい形にします。
- 製品に含まれる酵素類で作物の生育を促進します。
- 製品に含まれるミネラル・酵素・アミノ酸などの栄養素をナノ水の効果で素早く畑の隅々まで供給します。



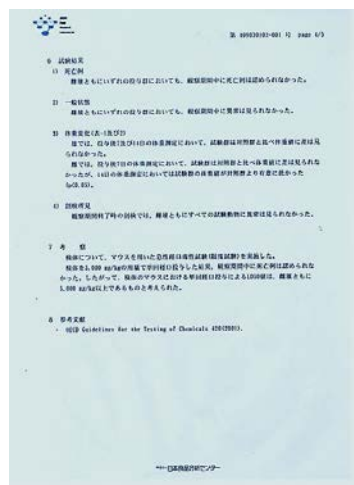
上記の効果により

- ① 作物が丈夫になり農薬が減らせます。
- ② 生育が促進され肥料が少なくて済みます。
- ③ 収穫時の収量や食味が良くなります。
- ④ 有機堆肥の作成が短縮されます。

これらの効果は実際に使用している農家さんから確認がとれています。

※完熟堆肥・有機質肥料の使用で相乗効果が増大します。

“みみっこ”の安全性について



- (財) 日本食品分析センターの急性経口毒性試験 (LD50) で実際上無害の最高値 (5000mg/Kg) が証明しています。
- 有機 JAS 適合資材
- 化学物質を使用しておりませんので、有機農法などの自然農法の邪魔をしません。

“みみっこ” 使用者の生の声

● 〈 使用農家 〉 お客様の感想であり、全ての方に対して効果を保障するものではありません。

- ☆ 杵築市 吉〇勝〇 (みかん・デコポン) 平成13年から使用。30kg/樹でバラツキが少なく安定した収量が得られている。土壌がやわらかくふわふわしているので根から養分吸収が良い。
- ☆ 佐伯市 農事組合法人『王〇』(米) 平成16年から使用。病気が減り、食味値が3-5程度増し、美味しくなった。
- ☆ 由布市 土〇幸〇 (梨 豊水・新高) 平成16年から使用。根が強化され樹勢が高まり、病気が大幅に減少した。
- ☆ 竹田市 広〇政〇 (トマト・アスパラガス) 平成16年から使用。糖度が増して酸味とのバランスがよくなり、形の良い品が増え、収量が平均2割増加した。
- ☆ 竹田市 阿〇興産株式会社 (米・ブドウ) 平成20年から使用。糖度が増し喉ごし良く、糖度20-24度と美味しくなった。
- ☆ 鹿児島県長島町 麻〇 (ジャガイモ) 平成26年から使用。今まで発生していたソウカ病が見られなくなった。葉・茎の生育が良く、ふかふかして美味しくなった。また、サツマイモの今までにない旨みを味わった。
- ☆ 豊後高田市 野〇 (玉ねぎ) 平成27年から使用。今まで発生していた玉ねぎのベト病が見られない。
- ☆ 臼杵市 〇〇F (ベビーリーフ) 平成27年から使用。ベビーリーフに葉面散布した。品質が良く、収量が増えた。
- ☆ 臼杵市 ヤ〇〇園芸 (花卉) 平成27年から使用。花卉の勢いが強まり根張り、白根も多く咲き具合や発色がはっきりした。

“みみっこ” 実証例

●同一圃場、同一時期、同一条件の下で実施した。

小松菜

播種 27 日後 収量 10% 向上



ほうれん草

播種 72 日後 収量 14% 向上



白カブ、紫カブ

カブ重量が 1.3~1.8 倍 (試験区 > 対照区)



桜草

主根、白根が多い



主根、白根が見られない



根重量が 1.7~2.5 倍 (試験区 > 対照区)



花卉栽培農家主の感想；花卉の勢いが強まり、根張り・白根も多く、花の咲き具合や発色がはっきりしている。

商品紹介

“みみっこ[®]” 商品形態



- みみっこ20
内容量 20L



- みみっこ10
内容量 10L



- (特注品)
- みみっこ2
内容量 2L

“みみっこ” 使用方法

水田稲作

時期	使用量	希釈率	使用方法
育苗時	200 cc	約 500 倍	ビニールカバーを剥した後 3日おきに 2~3 回散布
定植時	10ℓ	原液	10~15 日以内に、 水の取入れ口に注ぐ
定植後	10ℓ	原液	妖穂形成期に 水の取り入れ口に注ぐ

花木栽培

時期	使用量	希釈率	使用方法
土作り	15ℓ	約 100~ 200 倍	堆肥すき込み時に 土壌散布
育苗	200 cc	約 500 倍	期間中 2~3 回 育苗ケースに散布
定植後	500 cc ×6=3ℓ	約 1000 倍	月 2~3 回程度 葉面散布

露地栽培

時期	使用量	希釈率	使用方法
土作り	20ℓ	約 100~ 200 倍	堆肥に直接散布
育苗	200 cc	約 500 倍	期間中 2~3 回 育苗ケースに散布
定植後	0.5×6 =3ℓ	約 500 倍	月 1~2 回程度、 葉面散布

果樹栽培

時期	使用量	希釈率	使用方法
土作り	10ℓ	約 100 倍	11 月~3 月 堆肥すき込み時 土壌散布
	7ℓ	約 100 倍	4 月~7 月 圃場全体に散布
育成	1ℓ×3 =3ℓ	約 500 倍	月 1 回程度、圃場全体に 葉面散布

ハウス栽培

<10a(1 反)あたり>

時期	使用量	希釈率	使用方法
土作り	15ℓ	約 300 ~500 倍	堆肥すき込み時又は 定植 2~3 週間前に土壌散 布
育苗	200cc	約 500 倍	期間中 1 週間おきに 3 回 ポットに散布
定植後	0.5×3 =1.5ℓ	約 500 倍	3 日おきに灌水で適宜散布
	0.5×6 =3ℓ	約 1000 倍	月 1~2 回程度 葉面散布

○土作り時—・残留農薬分解・土壌、根張り強化

・微生物、生成物供給

○育苗時——・樹勢、根張り強化

○定植後——・樹勢、抵抗力強化・活着促進

など様々効果が期待できます。

※使用量、回数、希釈率は一般参考値です。※殺菌剤・殺虫剤・石灰チツソの併用は避けて下さい。完熟堆肥・有機液肥の併用でより効果を発揮します。